

報道関係者各位

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス
2013年3月期 第3四半期連結決算のお知らせ

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:和田 洋一、以下当社)は、本日、第3四半期の決算発表を行いましたのでお知らせいたします。

財務ハイライト

■ 第3四半期連結累計期間(4月1日~12月31日) 百万円

	2013年3月期 第3四半期	2012年3月期 第3四半期	前年比
売上高	102,794	95,738	+7.4%
営業利益	△4,853	11,220	-
経常利益	△4,201	9,566	-
純利益	△5,745	5,013	-
1株当たり純利益	△49.93円	43.57円	-

■ ご参考:通期(4月1日~3月31日) 百万円

	2013年3月期計画	2012年3月期	前年比
売上高	150,000	127,896	+17.3%
営業利益	7,500	10,713	△30.0%
経常利益	6,500	10,297	△36.9%
純利益	3,500	6,060	△42.2%
1株当たり純利益	30.42円	52.66円	-

詳細な情報は、本日開示の四半期決算短信 (<http://www.hd.square-enix.com/jpn/13q3tanshin.pdf>)をご参照下さい。
ご参考:スクウェア・エニックス IRページ:<http://www.hd.square-enix.com/jpn/ir/>

当第3四半期連結累計期間の業績の概要は以下の通りです。

当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、家庭用ゲーム機向けソフトの市場環境が厳しくなっており、投資に見合った期待収益を得られにくくなっていることから、第2四半期連結累計期間に計上した営業損失を解消できませんでした。

一方、Web、スマートフォン、SNS等の成長分野に向けたコンテンツにおいては、ブラウザゲーム「戦国IXA」や「ファイナルファンタジーブリゲイド」等が引き続き収益に貢献する他、昨年4月にサービスを開始したソーシャルゲーム「拡散性ミリオンアーサー」が登録会員数100万人を突破するなど、新規タイトルも順調に伸長しております。さらに、昨年11月にサービスを開始したグリー向けソーシャルゲーム「ファイナルファンタジーアートニクス」も、昨年12月末で登録会員数が100万人を突破しております。

また、昨年8月にサービスを開始した「ドラゴンクエストX 目覚めし五つの種族 オンライン」の運営は、堅調に進捗しております。

他方、アミューズメント事業においては、アミューズメント施設運営は堅調に推移しているものの、第2四半期連結累計期間に発売したアミューズメント機器の不振の影響が当第3四半期連結累計期間においても解消できておらず、収益面で厳しい状況になっております。

今後は、環境変化に伴う新たなユーザ・ニーズに対応したコンテンツの強化や大型オンラインゲームの本格的立ち上げなどの施策により、業績回復を目指す所存であります。

以 上

<ご参考>

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングスについて

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングスは、多彩なコンテンツ／サービス事業を展開しているスクウェア・エニックス・グループを統括する純粋持株会社です。当社グループは、スクウェア・エニックス、タイトー、アイドスなどの国際的ブランドのもと上質なエンターテインメント・コンテンツ／サービスを提供しています。また、先進的な開発拠点を日本、北米および欧州に配置し、国際的な事業推進体制を構築しています。当社グループの自社IPの代表作には「ドラゴンクエスト」シリーズ(パッケージゲーム累計出荷本数6,100万本以上)、「ファイナルファンタジー」シリーズ(1億本以上)、「トゥームレイダー」シリーズ(3,500万本以上)、「スペースインベーダー」シリーズなどがあります。(<http://www.hd.square-enix.com/jpn/>)

※SQUARE ENIX および SQUARE ENIX ロゴ、ドラゴンクエスト／DRAGON QUEST、ファイナルファンタジー／FINAL FANTASY、トゥームレイダー／TOMB RAIDER、スペースインベーダー／SPACE INVADERS、その他の社名、商品名は、日本およびその他の国におけるスクウェア・エニックス・グループの商標または登録商標です。

※その他、記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。